

平成 24 年度 神戸大学体験型海洋セミナー 海と船に親しむ！体験航海、深江丸

平成 24 年度神戸大学体験型海洋セミナーは、8 月 21 日(火)～22 日(水)に附属練習船深江丸船上にて行われました。同セミナーは、平成 11 年度から継続して開催されているプログラムです。本プログラムは、練習船を使い、宿泊を伴う 1 泊 2 日のプログラムを小学生を対象に行うもので、毎年募集定員を大きく超える応募のある人気プログラムとして注目されています。本年も、多数の応募者から抽選で選ばれた 26 名が、神戸大学海事科学部と小豆島の内海湾を往復する体験航海に参加しました。航海中の深江丸船上では、船橋や機関での体験当直のほか、実物に触れる機会を多く取り入れています。また講義のプログラムとして、船舶工学の基礎である「船の浮力と安定性」と、天文航法の理解の入り口となる「太陽と地球と星のはなし」をテーマにした学習を実施しました。

体験学習

本プログラムの特徴は、実体験を伴った学習と、協調性とリーダーシップの育成を目指したプログラムにあります。2 日間のプログラムの中では、船橋での操舵体験や機関室に入っの稼働中のエンジンを見るなどの実体験をさせるほか、救命胴衣を着けての退船訓練や心肺蘇生の学習を通して人の命の大切さを体験から理解させる試みを取り入れています。



写真 1 全員救命胴衣をつけての退船訓練

また、学習プログラムでも実験を交えた浮力に関する学習や、季節により変わる星座と地球の関係を学んだ後に、小豆島の澄んだ夜空を見上げての天体観測などにより、教科書やパソコン画面だけでは味わうことの難しい感動を伴った学習効果が得られています。



写真 2 実験を交えての浮力の学習

集団生活

宿泊を伴う船内での集団生活は、もう一つの本プログラムの特徴となっています。本プログラムは、募集者の中から選ばれた参加者が基本的には単独で参加するもので、同じ地区、同じ小学校からの参加者が同乗していることはあまり多くありません。そのため、本プログラムの参加者は、当日初めて出会った参加者同士が、食事、宿泊を共にして2日間を過ごすこととなります。このなかでは、食事の準備や後片付け、居室のみならず共通空間の掃除なども共同で行い、学習時間以外も基本的には班単位(参加児童3名+学生リーダー1名)で行動することを義務付けております。大学生との交流やリーダーシップや参加児童間での協調などを通じて、人間関係の大切さを学べるような意図でプログラムが構成されています。



写真3 リーダーに質問する参加児童

おわりに

本年度で14回目を迎えることのできた本プログラムは、単独参加で宿泊を伴うユニークなプログラムとして、毎年好評を得ています。広報は、神戸、芦屋、西宮の各市の教育委員会の協力のもと、同市内の小学校を通じて対象学年に募集案内の配布を行うようにしていますが、ウェブでの募集案内を早くから待ちわびている人たちも多くいると聞いています。大変有難いことと思います。ご支援をいただいている関係各位には、改めて感謝申し上げますと共に、今後も継続して実施してゆくための支援をお願いするものです。